

中学生のお子様をお持ちのお父様・お母様へ

勉強だけが中学教育の最重要課題ではないという意見もありますが、現実を目を向けると高校入試を無視するわけにはいきません。高校進学先の先にある大学進学も現実味が帯びてきます。また、大学も就職活動において、企業による卒業大学による選考で、生き残りをかけた序列化の厳しい現実の波にさらされているのが現実です。

現在の高校受験は、過去以上に子どもたちの将来を左右する大きな関門です。「どの高校に進学すれば、どの階層の大学に進学できる可能性が高いか」という現実直面からです。現実に公立高校でも学校によって、指導レベルや教材も異なります。その高校に通う生徒に見合った学習レベルを指導しています。大学受験時にその差が、上位大学への進学率としてあらわれるのです。もはや、高校より中学校の3年間は、将来の選択肢を広げる上で最も重要な時期であることは明白です。

「高校受験までまだ時間はある」とお考えではありませんか？
部活動や友人関係など時間を多く必要とされる中学校の3年間は、時間との闘いです。

「ローマは1日にしてならず」の諺どおり、日々の学習時間と内容の積み重ねが大切になります。

中学校の教科は継続性の上に成り立っている！

- 特に数学・英語は1年時単元の理解度の差は3年時には拡大する。
1年で△→2年で×→3年で××
(だいたい・こんな感じ～・なんとなく・あてずっぽう では No good !)
- 数学 小学校で学んだことを基本に、論理的に考える力を要求される。
 - 1年時の内容理解の上に2年、2年の内容理解の上に3年の単元が配置されている。
 - 代数・幾何分野の2分野に分かれ、1年時が理解できていないと後で苦勞する。
 - 学校では3年最終学期まで新たな単元があるため、総合復習の時間がない。
(当塾では3年時11月末までにすべての単元を終了します)
 - 単元数が多いため、学校では応用問題に取り組む時間の余裕がない。
(入試や実力考査には応用問題が多く出題されます。)

暗記項目： 公式・定理……………計算や証明に必須

中学校教科の中で数学は英語と並んで、時間や忍耐を必要とされる教科です。普段の積み重ねが3年時に大きく差となって現れる教科ですので、コツコツと努力しましょう。

- 国語 小学校単元 + 古文 + 文法であるが、論理的に考える力を要求される。
 - 学校では1作品を、時間をかけて読み解くため、絶対量が足りない。
 - 文章の細部(接続詞・指示語・比喩的表現など)を論理的に読み理解する。
 - 韻文(短歌・和歌・詩)の表現技法から作者の感動や、情景を理解する。
 - 古文・漢文の表現内容や感情を、表現技法をとおして理解する

暗記項目： 漢字・語彙・慣用句・品詞

- 英語 教科書は対話文を主とし、文法分野や表現力・読解力を学ぶ
 - 文法等ルールを理解し、論理的に考え・組み立てることが重要
 - 1年時はすべての基本ですので、書く・読むことを重点的にマスターする必要があります。
 - 1年時の基本文に修飾表現を加えて多様な表現を身に着ける。
 - 語彙力や文の構成に着目することで理解度は進む。

暗記項目： 単語・連語・会話表現 ……………長文読解に必須

数学と並んで中学教科のハイライトです。英語が必須の現代社会において、中学英語が基礎です。将来に向けて英語を苦手教科にすることは避けなければいけません。

- 理科 第1分野2分野を3年間で知識を増やす。論理思考も必要
暗記項目： 全内容

- 社会 地理（1年時）・歴史（2～3年時）・公民（3年後半）の分野の知識を増やす。
暗記項目： 全項目

暗記力は個人差があり、暗記にかかる時間も差が出ます。また、時間が経つにつれ忘れてしまうこともあります。理科や社会は地道に覚えて、学期末・年度末には復習しておく必要があります。論理的に考え解く練習は暗記に比べて時間がかかり、問題量や質を上げることで応用力は養われます。よって、数学や英語・国語は時間と集中力・忍耐力が必要になってきます。

中学校の勉強で失敗しないための学習姿勢

- 勉強に対して真摯に取り組む。（いい加減な態度・姿勢で勉強しない）
- 勉強は自分に必要だと自覚できている。（受動的な意識で勉強しない）
- やるべき課題を期限内にやりきる（少しずつでも毎日取り組む）
- 集中と緩和を切り替えるようにする。（On と Off の切り替えをする）
- 回答だけを求めない（回答までの正しい道筋を学ぶ）

「言うは易く行うは難し」ですが、中堅校以上の高校への進学をご希望されるならば、1年の最初から地道に努力する必要があります。

受験直前になってから後悔しないために

冒頭でも触れましたが、不断の努力を続けることは大人でも困難です。それを実行する環境が必要です。家庭学習だけで可能な人もいらっしゃると思いますが、大多数は誘惑に負けてしまいます。

多くの受験生は入試直前になれば、「あと半年あれば」「もっと時間があれば」と言います。いくら頑張っても、全員がそう思うのです。目標が高い人ほどそう思うようです。受験勉強に「これで完璧」は無いのです。しかし、最後まであきらめずに頑張る人は必ず報われます。

少人数での学習環境は、各人の理解度や気力をきめ細かく把握でき、適切に対応できるメリットがあります。また、勉強だけでなくメンタルケアも行えます。集団の中に埋もれて流されるよりも、より効果的な学習スタイルです。